

# 吉見町水道事業ビジョン

2019年度～2028年度

【概要版】

2019年 3月  
吉 見 町



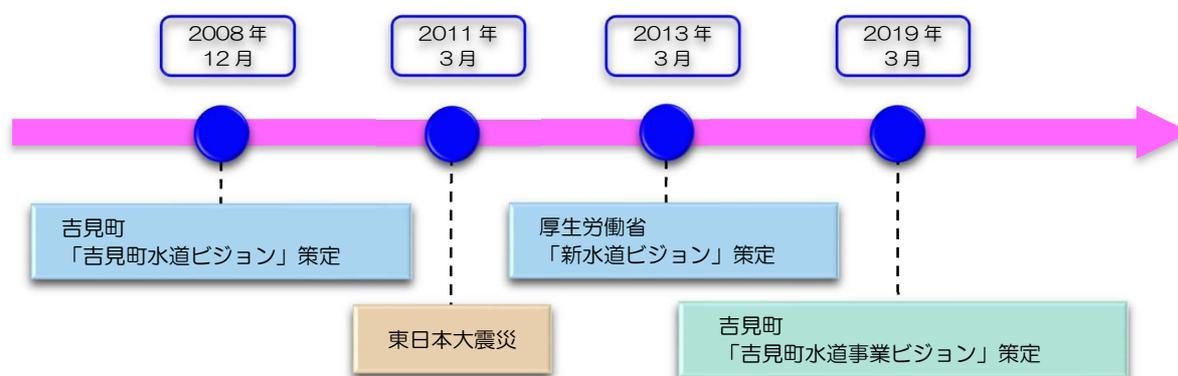
# 吉見町水道事業ビジョン【概要版】

## 第1章 水道事業ビジョン策定の趣旨

全国的な人口減少や節水意識の浸透、節水機器の普及などに伴い、水の需要が低迷し料金収入が減少するなど、水道事業の経営環境は年々厳しくなっています。また、老朽化した施設を更新するための財源確保が課題となっています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の教訓として、危機管理対策の重要性も見直されるようになったため、厚生労働省は、新たな課題を考慮した「新水道ビジョン」を2013年3月に策定し、水道における理想像の実現に向けた方向性を提示しています。

このような背景から、吉見町では、2008年12月に策定した「吉見町水道ビジョン」の計画期間が2018年度をもって終了するのと同時に、将来にわたって安全な水を安定的に供給できる水道事業を維持する目的で、計画期間を2019年度から2028年度の10年間として「吉見町水道事業ビジョン」を策定します。



水道事業ビジョン策定の経緯

## 第2章 水道事業のあらまし

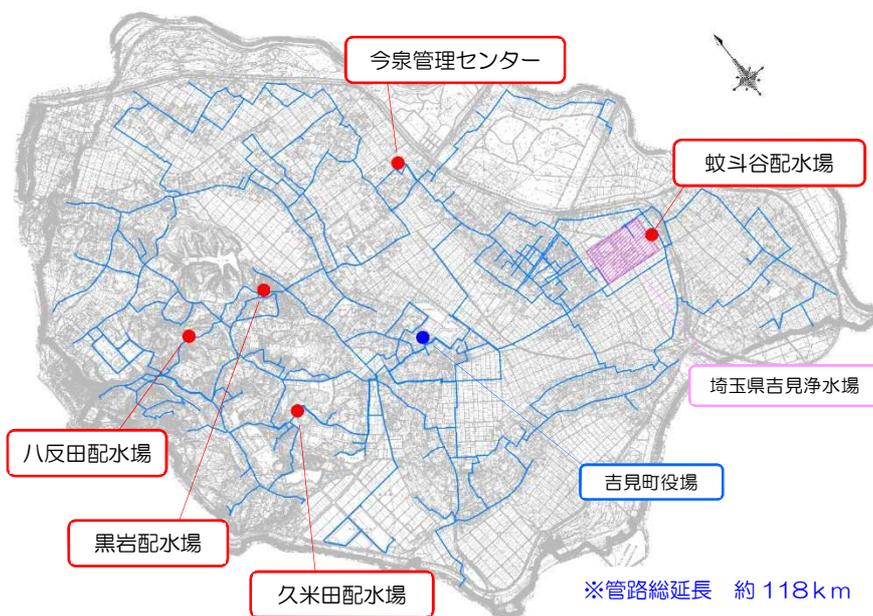
本町は、埼玉県営水道から送られてくる浄水（以下「県水」という。）を100%受水して運営しています。

水道施設には、今泉管理センター、黒岩配水場、久米田配水場、蚊斗谷配水場、八反田配水場があり、この内、黒岩配水場、久米田配水場及び蚊斗谷配水場において、県水を受水し、配水しています。なお、八反田配水場は、黒岩配水場からの水を受水し、配水しています。

管路に関しては2017年度末時点で約118kmとなっています。



黒岩配水場



各施設と配水管

## 第3章 水道事業の現状と課題

厚生労働省が策定・公表している「新水道ビジョン」で示されている「安全」、「強靱」、「持続」の観点を8つの要素に分解して現状を検証し、課題を抽出しました。

課題のまとめ

観点	観点の要素	課題
安全	水源管理	—※
	水質管理	安全性の向上 給水装置の管理
強靱	施設整備	施設ネットワークの見直し
		施設規模の見直し
		老朽設備の更新
		耐震化の推進
		設備管理体制の簡素化
	管路整備	老朽管の更新
		配水本管、重要給水路線の耐震化の推進
		管路の整備と維持管理
	危機管理	被災時の事業継続
多岐にわたる災害への対応		
備蓄品の充実		
持続	運営管理	財政基盤の強化
		人材育成と技術の継承
	環境配慮	省エネ設備導入の検討
		庁舎及び施設内省エネ行動の推進
	お客さまサービス	最新情報の提供

※「水源管理」の課題については、県水のみで運営しているため、現状の監視体制及び埼玉県企業局との連携を継続していくため、課題はなしとしています。

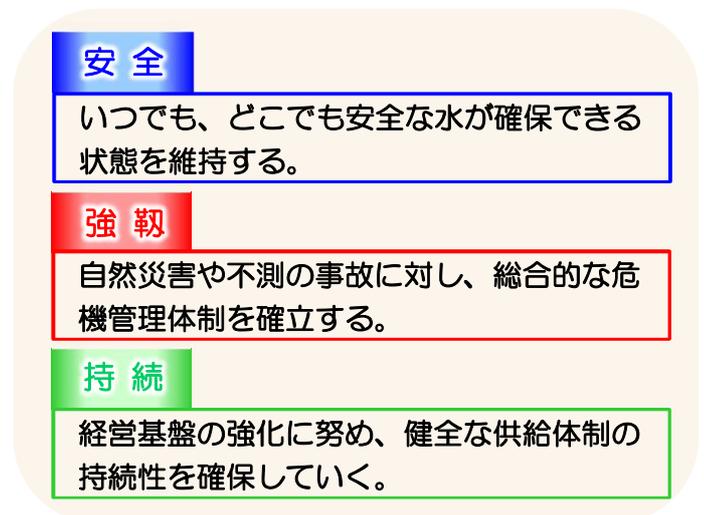
## 第4章 水道事業の理想像

吉見町水道事業が目指す方向性として、今後も利用者のみなさまと共に歩み続け、健全な水道事業を継続するために「よしみ」をキーワードとした基本理念を掲げました。

また、基本理念を実現するために、新水道ビジョンで掲げられている「安全」、「強靱」、「持続」の観点に基づき、水道事業が目指す理想像を設定しました。



水道事業ビジョン基本理念



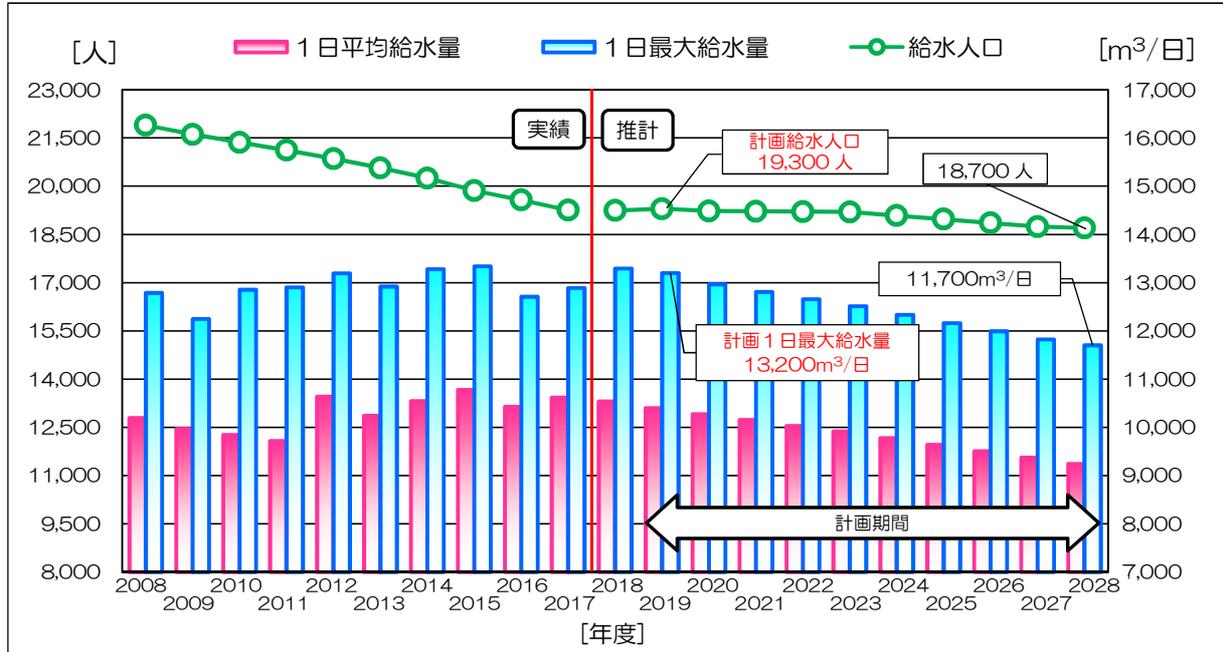
水道事業が目指す理想像

# 第5章 水道事業の方策の展開

## 1 将来の事業環境

### 人口および水需要の減少

本町の人口及び水需要に関して将来推計を行った結果、2019年度から2028年度までの計画期間のうち、給水人口は約600人減少し、1日最大給水量は約1,500m<sup>3</sup>/日減少する見込みとなりました。

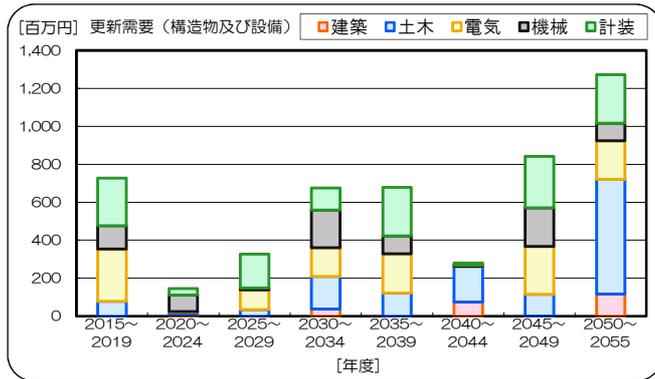


※1 2018年度以降の給水人口は、吉見町人口ビジョン(2015年10月)の数値を参考に推計しています。  
 ※2 2018年度以降の給水量は、過去の実績を基に推計した水需要予測の値としています。

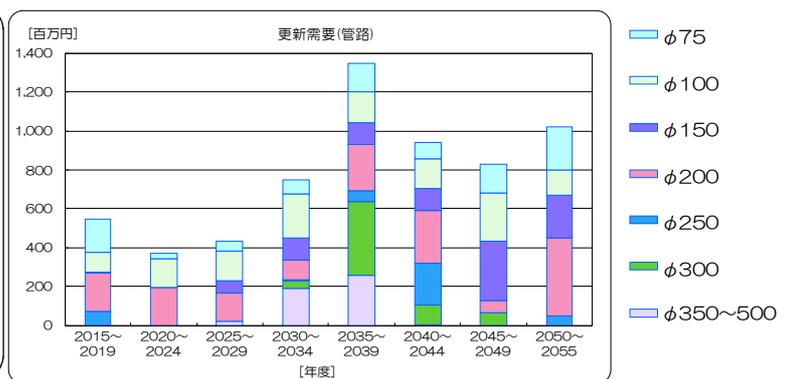
### 給水人口及び給水量の推計値

### 更新需要の増加

2015年度に実施したアセットマネジメント計画による設備の更新需要は、法定耐用年数で更新した場合、40年間で約49億円となります。また、管路の更新需要は、40年間で約63億円となります。



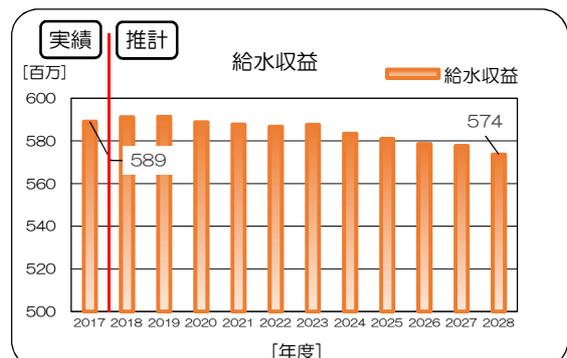
構造物及び設備の更新需要



管路の更新需要

### 財源の確保

水道料金による給水収益は、2017年度実績値と2028年度推計値を比較すると、11年間で約1,500万円減少する見込みです。



給水収益の推計値

## 2 課題に対する方策と年次計画

抽出した課題に対する方策は以下の表になります。今後、各方策の実施に関しては、適宜評価を行い、状況に問題がある場合は見直ししながら実行していきます。

課題に対する方策と年次計画

観点	観点の区分	課題	方策	前期		後期	
				2019年度 ～2023年度		2024年度 ～2028年度	
安全	管理 水質	安全性の向上	水安全計画の策定	■			
		給水装置の管理	指定給水装置工事事業者への周知徹底	■			
強 靱	施設整備	施設ネットワークの見直し	中央監視・制御設備の移転	■			
			今泉管理センターの廃止	■			
		施設規模の見直し	配水ポンプの最適化	■			
		老朽設備の更新	法定耐用年数超過設備の更新検討	■			
		耐震化の推進	久米田配水場PC配水池の耐震化			■	
		設備管理体制の簡素化	施設台帳システムの導入検討			■	
	管路整備	老朽管の更新	老朽管更新計画の策定	■			
		配水本管、重要給水路線の耐震化の推進	管路耐震化計画の策定	■			
			管網整備（新設路線）の検討	■			
		管路の整備と維持管理	漏水箇所周辺地域の事前点検	■			
	被災時の事業継続		BCP（事業継続計画）の策定	■			
	危機管理	多岐にわたる災害への対応	災害対策マニュアルの更新	■			
			三助の向上	■			
			災害用資機材の強化	■			
		備蓄品の充実	必要備蓄品の更新	■			
	運営管理		財政基盤の強化	料金体系の検証	■		
		人材育成と技術の継承	継続的な研修の実施、参加	■			
			関係団体との連携	■			
資格の取得支援			■				
環境配慮	省エネ設備導入の検討	導入可能省エネ設備の調査	■				
		庁舎及び施設内省エネ行動の推進	庁舎及び施設内空調温度の最適化	■			
	休憩時間の消灯		■				
サービス	お客さま最新情報の提供	ホームページやSNSの活用	■				
		庁舎内水道関係資料の提供	■				
		広報紙への情報掲載の充実	■				



吉見町PR大使「よしみん」

## 吉見町水道事業ビジョン

～より安全・安心で、しあわせを守る、みんなの水道～

**【概要版】**

2019年 3月

発行・編集 吉見町水生活課

〒355-0192 埼玉県比企郡吉見町大字下細谷 411  
吉見町役場

TEL: 0493-54-1511(代)

FAX: 0493-54-4200



吉 見 町